

シンポジウム グリーンインフラの実装に向けて

グリーンインフラの概念は広く日本に浸透し始めてきました。現在、国土交通省をはじめ、各自治体でも実装の動きが見え始めています。そこで、これまでの取組みの中から実装に役立つ情報を整理して、今後の更なる概念の浸透に活かせることを目的にシンポジウムを開催します。

13:00 開会
13:15 基調講演
14:00 講演①
14:45 講演②
15:15 講演③
15:50 パネル・ディスカッション
16:50 閉会挨拶
17:00 閉会



2019年6月19日(水) 開場 12:30 開演 13:00 閉会 17:00

場所: 東京都市大学 二子玉川夢キャンパス (ニ子玉川ライズ・オフィス8階)

入場数: 先着 150名

入場料: 無料 (登録が必要です)

右のQRコードからお入りください。
または、green-sympo@toho-leo.co.jpへ。
氏名、所属、住所、電話(携帯可)、メールアドレスを明記下さい。



基調講演: 涌井史郎 東京都市大学特別教授

「グリーンインフラで広がる新しい時代」

「グリーンインフラ」の有効性に着目し、実装が議論されるようになってきました。今重要なことは、ハードの展開のみならず、人々がグリーン・コミュニティとして、インフラに積極的に関われる条件を醸成できる、ある種の社会的システムの構築が必要です。今回のシンポジウムを通じて、その社会的変容のあり方を議論できればと思っています。



講演①: 五十嵐康之 国土交通省都市局公園緑地景観課緑地環境室

「グリーンインフラの実装に向けた新たなステージ」

持続可能で魅力のある国土・地域づくりの重要な要素であるグリーンインフラ。本年4月に国土交通省は新たな取り組みの方向性等をとりまとめ、社会実装を加速する新たなステージに向かっていくこととしています。その背景と概要、これからの展開等をご紹介しますと思います。



講演②: 島田智里 ニューヨーク市公園局

「ニューヨーク公園活性化の取組み」

ニューヨーク市公園局で、自然環境のマネジメントをはじめ、地理情報システム(GIS)による空間分析を通して緑の街づくりをしています。この10数年、ニューヨーク市は持続可能な街づくりを目指し、市の長期環境政策のOneNYC(旧PlaNYC)をもとに、様々な取り組みを行っています。これから新しい街づくりについて、公園に従事する立場でお話をしたいと思います。



講演③: 奥野修平 横浜市温暖化対策統括本部副部長

「SDGsの視点を取り入れた環境政策展開のアプローチ」

横浜市が抱える様々な課題を踏まえた未来への成長に向けた取組、最大のリスクである気候変動問題やSDGsの視点を取り入れた持続可能な環境政策の推進に向けたアプローチ、それらを踏まえたグリーンインフラの展開について、具体事例も紹介しながら、実装に向けた課題を議論できればと思っています。

